

第5回湖西市部活動地域連携・地域移行推進協議会 概要

- 1 日 時 令和7年3月14日（金） 19時00分～20時30分
- 2 場 所 湖西市健康福祉センター 3階研修室
- 3 出席者 委員10名（学識経験者2名、保護者代表2名、地域代表4名、校長2名）
事務局8名（教育次長、文化観光課長、スポーツ生涯学習課長、学校教育課長、
学校教育課職員4名）
傍聴者5名

4 協議内容

令和8年度より剣道部と柔道部で、休日の地域クラブ活動が開始される。活動開始に向けて、地域クラブの課題とその対応策について3つのグループに分かれて意見交換を行った。

以下の内容は、決定事項ではなく協議会で話し合われた主な意見。

<話し合いのテーマ>

『地域展開完了時期の設定について』『費用の設定について』『活動の種目や種類について』

<Aグループ>

- 地域展開の完了時期を決めることで、子ども保護者は準備に要する時間的な余裕が生まれる。
- 完了時期を決めるためには、例えば「活動場所や指導者の数が確保できている。」といった各競技・種目ごとに課題解決の見通しが必要になる。
- 指導者の確保については、市の広報を活用して発信してみてもどうか。また、身近な市役所職員への広報や地域企業への協力依頼なども有効な手立てだと考える。
- 指導者への報酬について、ボランティアというのはなかなか持続可能ではない。一方で、受益者の負担（月謝）が大きくなると、地域クラブへの参加人数も減少してしまう恐れがある。このバランスについて、他市町の情報を収集して研究していく必要がある。

<Bグループ>

- 令和7年度に休日部活動の試行をする競技で、平日も含めた活動費用や移動方法などについて考えていくと良いのではないか。
- 送迎について、市のバスや企業バスの協力が得られるようであれば、「行きはバス」「帰りは保護者送迎」もひとつの案ではないか。
- 現在活動しているジュニアスポーツクラブの委託金システムを踏襲することは有効である。しかしながら、今後競技数や種目数が増加することが想定されるのであれば、持続可能なシステムを構築していく必要がある。
- 活動費用について、受益者負担が必要であれば保護者への周知は必要不可欠である。また、困窮世帯への支援についても他市町の情報を得ることが重要である。

<Cグループ>

- 地域クラブの活動を持続可能なものにするためには、指導者の確保が必須である。現在活動している地域の指導者や学校の先生などは、貴重な人材と言える。
- 子どもたちのニーズに応えるためにも、文化系の活動も増やしたいと思う。音楽系だけでなく、発明クラブのような活動も湖西市の魅力と言える。